

2018 年度事業報告

<2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日>

事業の実施内容

【公 1】奨学・助成事業

【公 1 (1)】奨学金の貸与 (9 月募集、12 月決定 / 2 月募集、5 月決定)

	大学院			大 学			合 計		
	新規	継続	計	新規	継続	計	新規	継続	計
2017 年度	9	10	19	2	7	9	11	17	28
2018 年度	8	9	17	1	7	8	9	16	25

(a) 内容

- ①広島県出身の大学院生、大学生に対し最短修業年限まで学資金月額 5～8 万円を貸与。
- ②最短修業年限で修了した者は半額を返還免除。
- ③大学院進学者 10 名、大学進学者 3 名程度を採用。

(b) 2018 年度の状況

- ①2019 年度採用の大学院進学者は秋募集で 5 名、春募集で 3 名の採用を予定。
- ②2019 年度採用の大学進学者は 2 名を仮採用。1 名は希望大学に進学できず不採用。
- ③2018 年度採用の新規奨学生を対象に 2018 年 8 月に奨学生懇談会を開催、10 名出席。

【公 1 (2)】被災学生 (特別奨学生) への奨学金の給付

【公 1 (2) a】東日本大震災被災学生 (特別奨学生) への奨学金の給付

	新規採用数	継続	合計	累計
2017 年度	6	7	13	38
2018 年度	0	11	11	38

(a) 内容

- ①東日本大震災により修学が困難になった大学生に最短修業年限まで学資金を給付。
- ②1 人当たり月額 10 万円 (年間 120 万円) を卒業まで給付。
- ③2011 年度から事業を開始。制度の運用期間は 10 年間。延べ 40 名に給付を計画。
- ④2020 年度が最短修業年限となるため、2017 年度で募集終了。延べ 38 名に支給。
- ⑤38 名の内訳は東北大 13 名、東京大 7 名、早稲田大 7 名、慶応大 5 名、他大学 6 名。

(b) 2018 年度の状況

- ①継続採用者 11 名に給付。
- ②2017 年度採用者との懇談会を 2018 年 11 月に横浜にて開催、5 名出席。

【公1(2)b】西日本豪雨被災学生（特別奨学生）への奨学金の給付

	新規採用数	継続	合計	累計
2018年度	8	0	8	8

(a) 内容

- ①西日本豪雨により修学が困難になった大学生に最短修業年限まで学資金を給付。
- ②1人当たり月額5万円（年間60万円）、一時金50万円（初回のみ）を卒業まで給付。
- ③2018年度から事業を開始。2018年度～2020年度の3年間で計30名を採用予定。
- ④対象大学は貸与奨学生の採用実績があり、被災学生が多いと思われる次の10大学。
広島、岡山、山口、愛媛、九州、大阪、京都、東京、早稲田、慶應

(b) 2018年度の状況

- ①2018年9月に各大学1名を募集、2019年1月に次の8名の採用を決定。
広島大1名、岡山大2名、山口大1名、愛媛大2名、九州大1名、早稲田大1名
- ②2018年度のみ2018年10月から2019年3月までの6ヵ月給付。

【公1(3)】アジアからの留学生への奨学金の給付(9月募集、12月決定 / 1月募集、4月決定)

	新規採用数	出身地	
		中国（大連）	タイ
2017年度	2	1	1
2018年度	1	1	0

(a) 内容

- ①広島大学へ留学する中国、タイなどからの私費留学生に学資金を1年間給付。
- ②1人当たり月額10万円、年間120万円を給付。

(b) 2018年度の状況

- ①2019年度採用として2019年1月に大連、タイからの留学生各1名を決定。

【公1(4)】アジアの学生への奨学金の給付(9月募集、10月決定)

a. 大連大学

	新規採用数
2017年度	5
2018年度	5

(a) 内容

- ①機械系の学生5名に1人当たり年間5000円（半年に2500円）を1年間給付。

(b) 2018年度の状況

- ①2018年度の奨学生を2018年10月に募集し、2019年1月に5名の採用を決定。

b. 常州大学

	新規採用数
2017年度	3
2018年度	3

(a) 内容

①機械加工課程の学生3名に1人当たり年間5000元(半年に2500元)を1年間給付。

(b) 2018年度の状況

①2018年度の奨学生を2018年10月に募集し、2019年1月に3名の採用を決定。

【公1(5)】日本からの留学生への奨学金の給付(10月募集、3月決定 / 2月募集、7月決定)

	新規採用数	大学院生、大学生	
		広島県出身者	府中高校卒業生
2017年度	3	1	2
2018年度	2	0(辞退)	2

(a) 内容

①海外留学を希望する広島県出身の理工系、農学系の大学生等に対し学資金を給付。

②1人当たり月額10万円を留学期間(6ヵ月から1年まで)に応じて給付。

③広島県出身者は広島大、早稲田大、岡山大、京都大、大阪大の5校対象。

④府中高校卒業の大学院生、大学生については、大学、学部を問わず募集。

(b) 2018年度の状況

①府中高校卒業の愛知教育大学生がカナダに留学(2018年4月~2019年1月)。

②府中高校卒業の岡山大学生がアメリカに留学(2019年1月~2019年12月)。

【公1(6)】研究助成

	新規採用数
2017年度	1
2018年度	2

(a) 内容

①広島県在住または出身の個人またはグループに調査研究費用の一部を給付。

②科学・技術・芸術・文化等の振興に寄与する研究を行う者。給付額は100万円まで。

(b) 2018年度の状況

①福山市在住の尾道市立大学経済情報学部の准教授からの申請に対し100万円を給付。

②福山市出身の信州大学学術研究院工学系の助教からの申請に対し100万円を給付。

【公2】 育成事業

【公2(1)】 府中市立図書館等への図書等の寄贈

a. 府中市立図書館への図書寄贈

	府中市立図書館	
	寄付額	図書数
2017年度	100万円	275冊
2018年度	100万円	319冊

(a) 内容

- ①児童や青少年の健全な育成および地域社会の健全な発展のため、図書を寄贈。
- ②2006年度から事業を開始。毎年、図書購入費100万円を府中市立図書館へ寄付。

(b) 2018年度の状況

- ①府中市立図書館への図書寄贈は2018年度が13回目。累計で4,302冊。

b. 府中市内の小中高校への図書寄贈

	府中市立小中学校		広島県立高校	
	寄付額	図書数	寄付額	図書数
2018年度	200万円	1,134冊	100万円	588冊

(a) 内容

- ①児童や青少年の健全な育成のため、府中市内の小中高校へ図書を寄贈。
- ②期間は2018年度から3年間に限定。寄付額は図書購入費として年間300万円。

(b) 2018年度の状況

- ①府中市立小中学校10校へ図書寄贈。図書は小中学校と府中市立図書館にて選定。
- ②広島県立府中高校へ図書寄贈。学校図書館と学級文庫で活用。

【公2(2)】 ものづくり塾の開催

	児童数	開催回数
2017年度	117名	3回
2018年度	103名	3回

(a) 内容

- ①小学校での社会科の授業に合わせ、「ものづくり」の大切さを伝えるために開催。
- ②府中市立府中中学園5年生を対象に、講話や工場見学を実施。
- ③2005年度から事業を開始。クラス毎に約半日かけるため、毎年2日間の開催。

(b) 2018年度の状況

- ①府中市立府中中学園5年生を対象に広島東工場にて開催。2018年度が14回目。
- ②2018年度は11月19日、20日に実施。103名が参加。

以 上